

※ 今週のアウトルック (3/8~3/12)

先週は、米ドルが上昇トレンド継続、他通貨は米ドルに対しては弱含みですが円に対しては変わらずといった状況です。

金曜日の米国雇用統計は非農業部門雇用者数が予想よりも良い結果となりましたが、反応は限定的なものだったようです。

今週は、米国雇用統計のイベント終了感からの月曜日の動きが注目されます。NY市場後半の動きを考えると景気回復期待感が大きく、このまま米ドル上昇の可能性が幾分強いように思います。

先週のドル円は、米国雇用統計の良好な結果を受けて、発表直後は上昇しましたがその後は下落、また後半にかけて再び持ち直し、NY市場終了時には開始時に近い水準まで戻ってきてそのまま終了しています。

今週は、この上昇トレンド継続から次のターゲットがどのあたりになるかがポイントとなりそうですが、110円付近まで到達できる勢いはありそうです。

ドル円の予想レンジは108円から110円です。

ユーロ円はなんとか129円付近を保っている状況ですが、ユーロドルの下落が気にかかります。1.17付近まで一気に下落する可能性もあり、その場合にはユーロ円も126円付近まで下落する可能性も考慮したほうが良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは126円から130.5円です。

ポンド円は150.5円付近のレジスタンスがブレイクできず、足踏み状態が続いています。一方ポンドドルは下落状況が続いており、このまま下落が続いた場合には、ポンド円も145円付近まで一度後退する可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは145円から152円です。

週末の米国雇用統計の良好な結果や米国の経済支援策の影響でNK225やNK225が戻ってきています。週明けにこの流れがどのようなものになるか、まずは注目が集まりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。